やる気 笑顔 元気

稲荷第一小学校
学校だより 8号
令和5年11月2日

※学校ホームページもぜひご覧ください　→　http://www.magokoro.ed.jp/inaridai1-e/

常澄中学校区の挑戦！

水戸市では１５校の中学校と１つの義務教育学校があり、それぞれの中学校区にある小学校と連携をしています。それを小中一貫教育と呼んでいます。令和４年度には、常澄中学校区の児童生徒は、コミュ力とプレゼン力に課題があることが全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙によって明らかになりました。そこで、令和５年度からは課題となるコミュ力・プレゼン力を身に付けさせるための取り組みが始まっています。

小中で頑張っています！コミュ力：ペアでの会話活動　プレゼン力：他校とのオンライン交流

2023年(令和5年)10月31日　火曜日　茨城新聞

米大使館員とクイズ

稲荷柳河小 文化や多様性学ぶ

G7水戸会合向け

水戸市で12月に開催されるG7茨城水戸内務・安全担当大臣会合に向け、市立稲荷柳河小（同市柳河町）と市立稲荷第一小（同市大井町）で30日、米国大使館の職員とオンラインで交流する授業が開かれた。両校の5、6年生計約70人が米国の地理や文化、多様性について、クイズなどを通して理解を深めた。

授業は、全小中学生に学習用端末を配備する文科省のGIGAスクール構想の一環で開催された特別講座。両校をはじめ、宮崎市や岡山県倉敷市の小学校がビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」で参加し、ユーチューブでもライブ配信された。

講師を務めた同大使館広報部のダービン・ユーンさんが、自由の女神像やグランドキャニオン、アラスカといった名所を写真などを通じて紹介。多くの移民を受け入れ、多彩な食文化を持つ多様性の国であることを説明した。ユーンさんは「テレビもたちには、人生の喜びを見つけるのは自分次第で、チャレンジすることの大切さを教えている」と強調した。

説明の最中には随所にクイズが設けられ、柳河小6年の飛田悠斗君が回答。米国の正しい面積の選択肢を当てる内容で、飛田君は正解を当て、参加者から拍手が湧いた。飛田君は「少し緊張したけど、正解できてうれしかった。アメリカの発明などの知識が身に付いた」と振り返った。同5年の戸崎心晴さんは「英語を習っているので、もっと英語を頑張ってアメリカの勉強に行ってみたい」と話した。（小島肇介）

クイズにオンラインで答える飛田悠斗君＝水戸市柳河町

オンラインでつながったアメリカ大使館。児童が考えた質問は二つ。①アメリカ大使館の方はNBA選手に会ったことはありますか。②アメリカではやっている物は何ですか。その様子は本校のホームページに掲載してあります。コミュ力があれば世界中の方々と仲良くなれることをこの交流から学んでほしいです。

GIGAは国境を越える！　～アメリカ大使館とつながりたい（６年）～

本日の5校時はGIGAスクール特別講座。6年生がアメリカ大使館とオンラインでつながり、アメリカのことを学んだり、自分たちが考えた質問をしたりして全国の6年生と共に学び合う機会に恵まれました。

10月30日(月)ブログ参照！

全国の小学校がアメリカ大使館とつながった特別講座。中には流暢な英語で質問している6年生もいました。よい刺激を受けたようです。

参加した児童の感想

- 自分たちが考えた質問に大使館の人が答えてくれて嬉しかった。
- クイズではアメリカで人気の食べ物が予想と違ってパスタだったことに驚いた。